



沼田宗純

日本に本格的な災害対応トレーニングセンターを建設・運営

災害対応トレーニングセンターの建設・運営に向けた研究会 RC-95

代表幹事

沼田 宗純（東京大学 生産技術研究所 准教授）
 伊藤 哲朗（東京大学 生産技術研究所 客員教授）
 目黒 公郎（東京大学 生産技術研究所 教授）
 チャイニャクリシナ（東京大学 生産技術研究所 特任助教）

連絡先

沼田宗純
 Tel : 03-5452-6445
 Fax : 03-5452-6438
 e-mail : numa@iis.u-tokyo.ac.jp
 URL : <http://tdmtc.tokyo/>

主旨

「背景」

日本は毎年多くの災害に苦しんでいるが、米国のように、「標準システム（ICS）」と「災害対応トレーニングセンター」が無いために、効率的な災害対応の向上が難しい。

結果として、2016年熊本地震を例示するまでもなく、災害発生後の混乱状況の中で、多くの行政職員は何をやったらよいのかが分からない状況に陥ってしまう。一般的にこの状況は被災市町村で最も顕著であるが、都道府県や国家中央政府であっても、改善の余地は大きい。

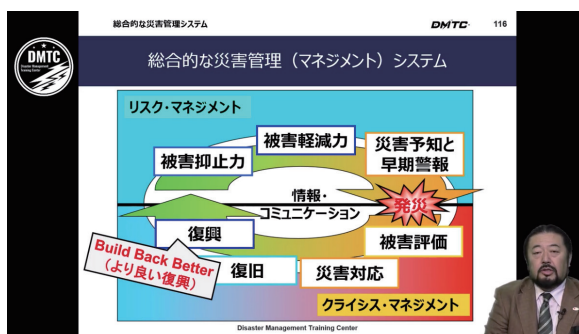
「狙い」

大きな災害が頻発する我が国において、今の状況では、効率的な災害対応は望めない。また、現在の我が国の少子高齢人口減少や財政的な制約を考えれば、防災における「自助・共助・公助」の中で、今後の「公助」の不足は「自助と共助」で補う必要がある。そのためには安定的な雇用と優秀な人材の参画による国際競争力の高い防災産業の発展が重要である。

そこで本研究会では、市町村、都道府県、国の行政職員をはじめ、地域の自治組織、災害ボランティア等の災害対応能力を高めるために、恒常的な教育訓練施設の構築を目指し、教育・訓練カリキュラムの体系化、施設の建設、管理運用について検討を深め、その実現に向けた具体的な可能性を探る。

「計画概要」

本研究会では、我が国の経験・教訓に基づく「行政機関及び地域における災害対応の基本原則の確認」及びこれを踏まえた「災害対応標準化システムの構築」、「災害対応トレーニングセンターの建設」による実践的な訓練のあり方を探り、①具体的な災害対応訓練及び教育システムの標準化、②我が国に適した災害対応トレーニングセンターを建設・運用するために必要な構成要素の抽出を図り、災害対応トレーニングセンターの建設・運営を実現するための実施計画を策定する。



参 加 費：賛助員の場合 ：10万円（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）
 非賛助員の場合：20万円
 上記の参加費で3人/1社まで参加可。

定 員：参加社数制限なし

運 営 方 法：研究会は、年に7回程度で、外部有識者などを招いた講義、ワークショップの実施など。
 学外の施設の見学なども計画する。

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405

TEL：03(5452)6095

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp



●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2021.html

●特別研究会会員規則：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2021/RC-kaiin-ki.pdf

2021年度 特別研究会申込書

特別研究会会員規則に同意の上、お申し込みください。

申込日：____年____月____日

いずれかに○をつけてください。

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

(2) 貴社名 :

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。

□（1口につき年会費10万円）

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。

□（1口につき年会費10万円）

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。